

平成29年度学術情報システム委員会活動経過報告

1. 会議等の開催

第1回 平成29年10月24日（火）、名古屋大学

議事：

1. 本年度の具体的活動計画について
 - (1) 学術情報システムに関するレポート作成について
 - (2) 学術情報システムに関するコミュニティ構築の方策について
 - (3) 国大図協ビジョン推進にかかる事業計画について
2. GIFプロジェクトについて

2. 活動

2. 1 これから委員会の活動支援

各地区で行っている、これから委員会の意見交換会の開催を支援している（会場の確保・運営、本委員会委員による司会進行、説明等）。

- ①札幌会場（平成29年10月2日開催）
- ②福岡会場（平成29年10月13日開催）

2. 2 GIFプロジェクトの進捗管理（別紙の通り）

以上

日米 ILL/DD および日韓 ILL/DD プロジェクト状況報告

1. 日米 ILL/DD プロジェクト

1) 「文献複写サービス」参加状況（平成 29 年 9 月 30 日現在）

- 参加機関数： 日本側 170、米国等側 119
- 平成 29 年 4 月以降、日本側は 1 館減少、米国等側は 3 館増加

2) 「現物貸借サービス」参加状況（平成 29 年 9 月 30 日現在）

- 参加機関数： 日本側 95、米国等側 90
- 平成 29 年 4 月以降、日本側は 1 館減少、米国等側は 1 館増加

3) 日米 ILL/DD 実施状況

- 平成 29 年 4 月 1 日～9 月 30 日の日米 ILL/DD の実施状況は、表 1 のとおり
- 前年同期に比べ、依頼件数は 57 件増、受付件数は 45 件減
- 依頼分の謝絶率は 39.1%
（参考：24～28 年度の推移）38.4%→43.7%→38.0%→36.9%→38.6%
- 受付分の謝絶率は 74.1%
（参考：24～28 年度の推移）69.0%→71.3%→66.6%→72.8%→74.2%

表 1 日米 ILL/DD 実施状況（平成 29 年 4 月～9 月）

	依頼件数				受付件数			
	完了	謝絶	その他	計	完了	謝絶	その他	計
文献複写	346	232	0	578	115	252	0	367
現物貸借	67	33	0	100	33	171	0	204
合計	413	265	0	678	148	423	0	571

2. 日韓 ILL/DD プロジェクト

1) 参加状況（平成 29 年 9 月 30 日現在）

- 参加機関数： 日本側 121、韓国側 334
- 平成 29 年 4 月以降、日本側の増減なし、韓国側は 1 館増加

2) 日韓 ILL/DD 実施状況

- 平成 29 年 4 月 1 日～9 月 30 日の実施状況は、表 2 のとおり
- 前年同期に比べ、依頼件数は 1 件減、受付件数は 14 件増
- 依頼分の謝絶率は 27.8%
（参考：24～28 年度の推移）22.8%→23.5%→14.8%→17.4%→15.8%
- 受付分の謝絶率は 46.6%
（参考：24～28 年度の推移）36.7%→38.1%→40.5%→40.0%→46.3%

表 2 日韓 ILL/DD 実施状況（平成 29 年 4 月～9 月）

	依頼件数				受付件数			
	完了	謝絶	その他	計	完了	謝絶	その他	計
文献複写	13	5	0	18	1,133	989	0	2,122

3. GIFプロジェクトの終了について

平成 14 年から実施している本プロジェクトは、その柱である ISO ILL プロトコルの変更に伴い現行のフレームワークの根本的な見直しが必要となり、平成 27 年に国公立大学図書館協力委員会の下に国際 ILL 検討タスクフォースが設置され検討を重ねていた。

平成 29 年 3 月当該タスクフォースから、後継候補であったエージェント方式が確立できる可能性が低いこと、提供文献の内容分析を行ったところ他のサービスで概ね代替可能であること、GIF に代わる新たなフレームワークを検討すべきであること等が報告され、これを受けて国公立大学図書館協力委員会において協議した結果、平成 30 年 3 月末日をもって GIF プロジェクトを終了するという結論に達し、平成 29 年 9 月 14 日付けで参加機関に通知が行われた。

現在、日米 ILL のカウンターパートである NCC（北米日本研究図書館資料調整協議会）と平成 30 年 3 月終了の手順について調整を行っている。日韓 ILL に関しては、韓国側との調整等の課題が残っており、依頼・受付中止のスケジュールが確定していない状況である。